

# お告げのマリア修道会



## まごころ会

2026年5月

Tel.095-846-8300



QRコードから  
アクセスして  
下さい

『わたしは主のはしたためです。

お言葉どおり、この身になりますように。』

### 第146回 クルシリヨ

本部にて開催されました

5月3日から6日にかけて、

長崎大司教区の第146回クルシリヨがお告げのマリア修道会の本部にて開催されました。



第1回は1966年の5月の連休に永井学生センターで行われ、24名が参加しています。それから、60年、約4500名のクルシリスタが誕生し、日々の生活の場で信徒の宣教者としてがんばっています。

以下は「クルシリヨ」のホームページを参照してクルシリヨの歴史をまとめています。クルシリヨは1940年代のスペイン、バレアレス諸島マヨルカ島で生まれました。1948年のサンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼を契機に、信徒と司祭の小さなグループが、教会から離れている人にも「キリスト教の本質」を届ける新しい福音化の道を模索し始めました。クルシリヨの創始時の担い手として、信徒のエドゥアルド・ボニン・アギロー、マヨルカの当時の司教フラン・エルバス、セバステイアン・ガヤ神父らが特に重要な役割を果たしました。

クルシリヨはマヨルカからスペイン各地へ、さらにアメリカ大陸・欧州へと急速に広がります。スペイン国外では1953年にコロンビア、欧州では1960年代にポルトガル、オーストリア、イタリア、ドイツ、アイルランド、イングランドへと展開しました。アジアでは1960年代初頭、まずフィリピンに伝わり、ここを起点にベトナム、韓国、台湾、タイなどへと広がりました。

日本に導入されたのは1963年でした。米国チームによって実施され、司祭もチームも日本語を話さなかったため、通訳を介して行われた世界初のクルシリヨとして記録されています。当時クルシリヨが急速に広まっていたアメリカから来た宣教師の神父たちではないかと考えています。実際、1964年5月に浦和教区（現在のさいたま教区）で開催された第5回クルシリヨの写真には、7名ほどの外国人神父が写っています。そして、名前が判明している神父たちは全員アメリカ人であることが分かっています。 ↓裏へ続く

### まごころ会会員帰天 お祈りください

- ・ エリザベト 浦浜ソミ 青砂が浦教会
- ・ ミカエル 柿本実男 三井楽教会
- ・ エリザベト 中野キク 楠原教会
- ・ アガタ 井出チズ子 紐差教会

※毎月、初金曜日に、すべてのまごころ会員のたれにゴミサをお捧げしています。心を合わせてお祈りください。



### 会員帰天、お祈りください

- ・ ルチア Sr. 眞倉 祥子 仲知修道院

## 「クルシリオ」という言葉について

世界中のクルシリオ運動では、創始の精神を大切にするために、いくつかの言葉が各国の言語に翻訳されずにそのまま使われています。その代表的な言葉として、「クルシリオ」「ロヨ」「パランカ」「デ・コロレス」などがあります。では、日本で「Cursillo」をどのようにカタカナ表記したのかを知る方法はあるのでしょうか？ その手がかりとなるのが、私たちが持っている写真です。この写真には、1964年1月に東京で開催された日本第2回クルシリオの責任者を務めたフランシスコ佐藤さんが写っています。写真を詳しく見ると、フランシスコ佐藤さんが持っているフォルダーの表紙に何かが書かれています。そして、そこに書かれているのがカタカナで表記された「クルシリオ」という言葉なのです。

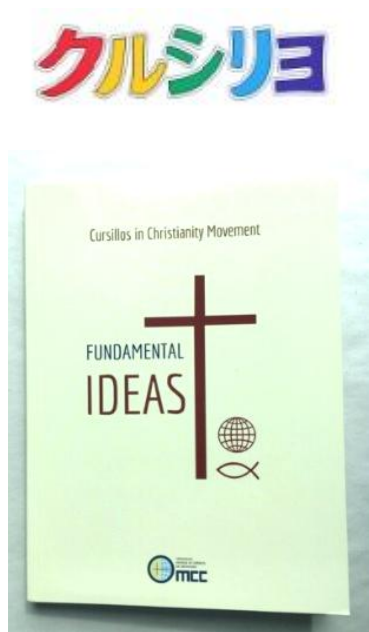
やがて、クルシリオは日本全国に広がっていききました。特に九州地方に深く根付き、中でも福岡教区と長崎教区で盛んに行われるようになりしました。実際、枢機卿トマス・アキナス前田万葉師によると、1970年代には長崎で新たに叙階されたすべての司祭が、制度としてクルシリオに参加することが定着していたそうです。

しかし、2000年に近づくにつれ、クルシリオ運動の活動は次第に衰退していききました。そして、私たちが把握している限りでは、2024年には日本国内で唯一、長崎教区でのみクルシリオが開催されました。大阪・高松大司教区では、来年度のクルシリオ開催を目指して準備を始めています。



写真右：お告げのマリア修道会本部大聖堂で行われた「感謝のミサ」大勢のクルシリストがお祝いに駆けつけ、ともにミサを捧げました。

写真左：「クルシリオ」のホームページで紹介されているテキスト。このテキストの翻訳を始めているそうです。



5月は聖母月です。私たちのお母さんであるマリア様に信頼して、ロザリオの花束をお捧げいたしましょう。

